

◆学校だより◆



けいせい

帯広市立啓西小学校
どんだん(活動する子)
わくわく(感動する子)
いきいき(表現する子)
 平成29年11月7日発行

家庭生活を見直そう!

生活リズムチェックシートの取組

11月20日(月)~11月26日(日)の1週間

西陵中エリア研修会

11月20日(月)19:00~ 広陽小学校体育館

子ども達の健やかな成長は、家庭での規則正しい生活が基盤となります。

毎年、西陵中学校エリアで共通して取り組んでいる「生活リズムチェックシート」を、今年度は**11月20日(月)~11月26日(日)までの1週間**、エリア内の幼稚園・保育所・小学校・中学校で同時期に行うことになりました。

この生活リズムチェックシートは、家庭での「早寝・早起き・朝ごはん・家庭学習・読書・運動・お手伝い」などの習慣化を図るために取り組むものです。合わせて「家族だんらんノーテレビデー」の取組も行うことで、親子の会話や触れ合いの時間がもてるとよいと思います。

学校では、学級活動等の時間を使い、子どもたちに取組の方法を指導する予定ですが、是非親子一緒にシートを確認し、生活リズムについての話題を介した親子のコミュニケーションの時間を作ってほしいと思います。

子ども達は、取組日までには、ご家庭にシートを持って帰りますので、是非ご家族一緒に取り組んでいただき、取組後は、シートを担任まで提出くださいますようお願いいたします。

また、今年度はこの取り組みに合わせて、「**西陵中エリア(保護者)研修会**」「**スマホ・ケータイ安全教室(5・6年)**」を行います。生活リズムチェックシートの取組と同時期に保護者と児童が同内容の学習・研修を受けることで、家庭生活について考えるよい機会にしていいただければ幸いです。「西陵中エリア(保護者)研修会」について

は、11月1日にご案内のプリントを各ご家庭に配布していますので、参加申込書に必要事項を記入の上、学校に提出ください。ご出席について、どうぞよろしくをお願いします。



11月の行事予定

1	水	合同学習発表会(キラキラ) PTA ベルマーク部会
2	木	立哨2-1
3	金	文化の日
4	土	
5	日	
6	月	立哨2-2 視力再検査週間
7	火	PTA 広報部会
8	水	
9	木	朝の読み聞かせ(5・6年)
10	金	立哨1の1
11	土	
12	日	
13	月	立哨1の2
14	火	学習発表会総練習 Jアラート訓練
15	水	外国語指導⑭
16	木	前日準備
17	金	開校 50 周年記念学習発表会
18	土	啓西ぼけっと(企画)
19	日	
20	月	生活リズムチェック週間 立哨6-1 チャイム着席・あいさつがんばり週間 西陵中エリア保護者研修会
21	火	給P費納入日(高) クラブ⑧ どんぐり昼の読み聞かせ スマホ・ケータイ安全教室(5・6年)
22	水	給P費納入日(中) HIRAKU 先生ダンス教室(2・4・6年)
23	木	勤労感謝の日
24	金	給P費納入日(低) 児童会⑨ 立哨6-2
25	土	市P連研究大会 体育館開放 読書感想文コンクール表彰式
26	日	
27	月	参観日(4・6年) 4年学年行事 P給費納入日(予) 立哨5-1
28	火	参観日(1・5年)
29	水	参観日(2・3年) 外国語指導⑮ ALT⑬
30	木	新入児検診 ALT⑭ 国際理解教育(4年)

平成29年度全国学力・学習状況調査について

新聞報道や帯広市のホームページ等で本年度実施された全国学力・学習状況調査の北海道と帯広市の結果が公表されました。

北海道の状況については、全ての教科で全国平均に達していないものの、全国平均正答率との差が小学校国語A・B、小学校算数A・Bで縮まるとともに、正答率の少ない児童の割合が減少するなど改善の傾向が見られました。

本校の状況ですが、全ての教科で全国平均正答率に達していないものの、本校の課題となっている算数Aでは、着実に差を縮めつつあります。

以下、今回の本校の結果を分析しましたので、今後の子どもたちの学習に生かしていきたいと考えています。また、近日中に本校のホームページにも詳細な分析をアップいたしますので、どうぞご覧ください。

国語A(主として「知識」に関する問題)

* 言語についての知識・理解・技能のうち、漢字の読み・書きに着目すると、全道・全国平均を上回った問題もあり、全体的に全国平均に近づいています。宿題や家庭学習への取組や、日常のきめ細かい指導の効果が表れてきているといえます。

国語B(主として「活用」に関する問題)

* 【書くこと】の問題では正答率が低かったものの、全道・全国平均を上回った設問もあり、チャレンジテスト等を通して、教科書にはない文章を読んで答えたり、指定された条件に合わせて答えたりすることに少しずつ慣れてきているといえます。今後も引き続き、自分の考えを整理し、表現する活動を国語に限らず各教科・領域で行っていきます。

算数A(主として「知識」に関する問題)

* 四則計算では、一昨年度・昨年度同様に小数の加法（一昨年度は減法）で全道・全国平均を下回りました。位をそろえて計算することを忘れないように、放課後学習・けいさんタイムやチャレンジテスト等を活用して引き続き反復学習を行っていきます。

算数B(主として「活用」に関する問題)

* 答えに至るまでの過程を説明するだけでなく、ノートに記述したり、図や表、式、言葉（算数の用語）を結びつけたりしながら学習の理解を深め、定着を図ることを大切にされた指導の工夫を行っていきます。今後も問題文・資料等のたくさんの情報の中から問題の意図を読み取る力をつけることを大切にしていきます。

児童質問紙より(学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査)

* 依然としてテレビやゲームに費やす時間が全国・全道に比べて多くなっています。今後も生活リズムチェックシート等を活用し、生活時間について見直す機会を持つことが大切です。

* 啓西小学校では「家庭学習のすすめ」の中で、「高学年 60分以上」「中学年 60分」「低学年 30分」を目安として設定しています。遊びの時間と学習の時間をしっかりと区別すること、特に高学年では子どもが学習時間を考え、終わりまで集中して取り組むことが大切です。今後も家庭学習の手引き等を活用していきます。